

令和3年2月5日

経済産業省所管団体 御中

経済産業省
商務情報政策局
情報産業課

昨今のソースコード流出を受けた情報管理の徹底についての依頼

各企業の皆様におかれましては、平素から経済産業行政について格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。

2021年1月29日（金）に、ソフトウェアのソースコードを管理するクラウドサービス「GitHub」上で、複数企業のシステムに関連するソースコードの一部が流出していたことが判明しました。

本来、ソースコードは企業における厳重な管理が不可欠なものです。今回の件のように個別企業の情報が含まれるソースコードが意図せずに流出して不特定多数の目にさらされることは、そのコードが組み込まれたシステム全体の侵害リスクを高める可能性があります。

また、GitHubに限らず、ソフトウェア開発において関係事業者が共有型の開発環境を利用する際には当該、事業者間で適切に情報の公開範囲等を設定することが不可欠です。設定を誤ると本来は関係事業者以外には秘匿されているべき情報が意図せずに晒され、重大なセキュリティインシデントにつながる可能性もあるため、利便性と共にそのリスクについても正確に理解しておくことが重要です。

昨今、我が国企業へのサイバー攻撃の手法は高度化・巧妙化が進んでおり、被害の形態も複雑化しています。ソースコードの窃取や開発環境への侵入事案も確認されています。従来の対策だけでは侵入を完全に防ぐことは難しくなっており、各社におけるサイバーセキュリティの取組には一層の強化が求められています¹。

つきましては、適切な理解に基づいて安心・安全にソフトウェアを開発いただくためにも、各社、及びその委託先（再委託先等も含む）においては、ソースコード等の情報や開発環境について適切な管理とサイバー攻撃対策を実施いただきますようお願いいたします。

¹ 経済産業省「最近のサイバー攻撃の状況を踏まえた経営者への注意喚起（2020年12月18日）」<https://www.meti.go.jp/press/2020/12/20201218008/20201218008.html>